

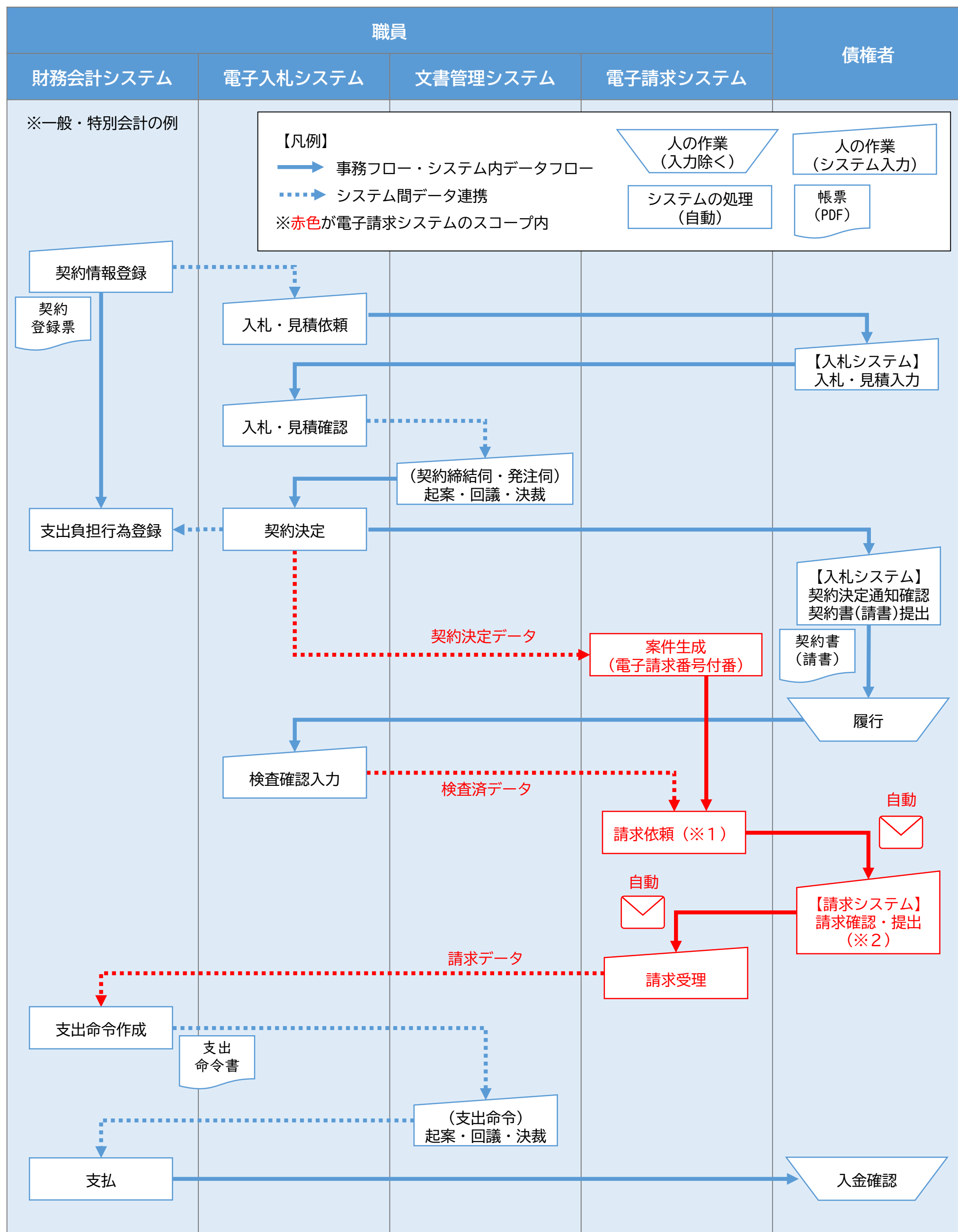
歳出パターンまとめ

パターン	概要	例	備考
1	電子入札システムを使用する契約	工事、委託、物品、設計・測量等	
2	電子入札システムを使用しない契約	タクシー（協定あり）、支出負担行為登録時に債権者が特定できている謝金等を含む	電子請求に関するフローは3と同様 ※R 6 構築対象外
3	謝金、補助金等	支出負担行為登録時に債権者が特定できていない謝金、補助金等	電子請求に関するフローは2と同様 ※R 6 構築対象外
4	支出負担行為兼支出命令	新聞、国内旅費等	※R 6 構築対象外

令和6年度中の構築で実装する機能の範囲

会計区分	請求データの受理 (電子請求システム)	請求データの財務会計 システムへの連携
一般・特別	歳出パターン1	実装しない
水道事業・工業用水事業	歳出パターン1	歳出パターン1
下水道事業	歳出パターン1	実装しない
自動車事業・高速鉄道事業	歳出パターン1	実装しない
埋立事業	実装しない	実装しない
病院事業	実装しない	実装しない

歳出パターン1ー1ー1 (電子入札システム使用・請求データ連携あり・契約決定データあり)

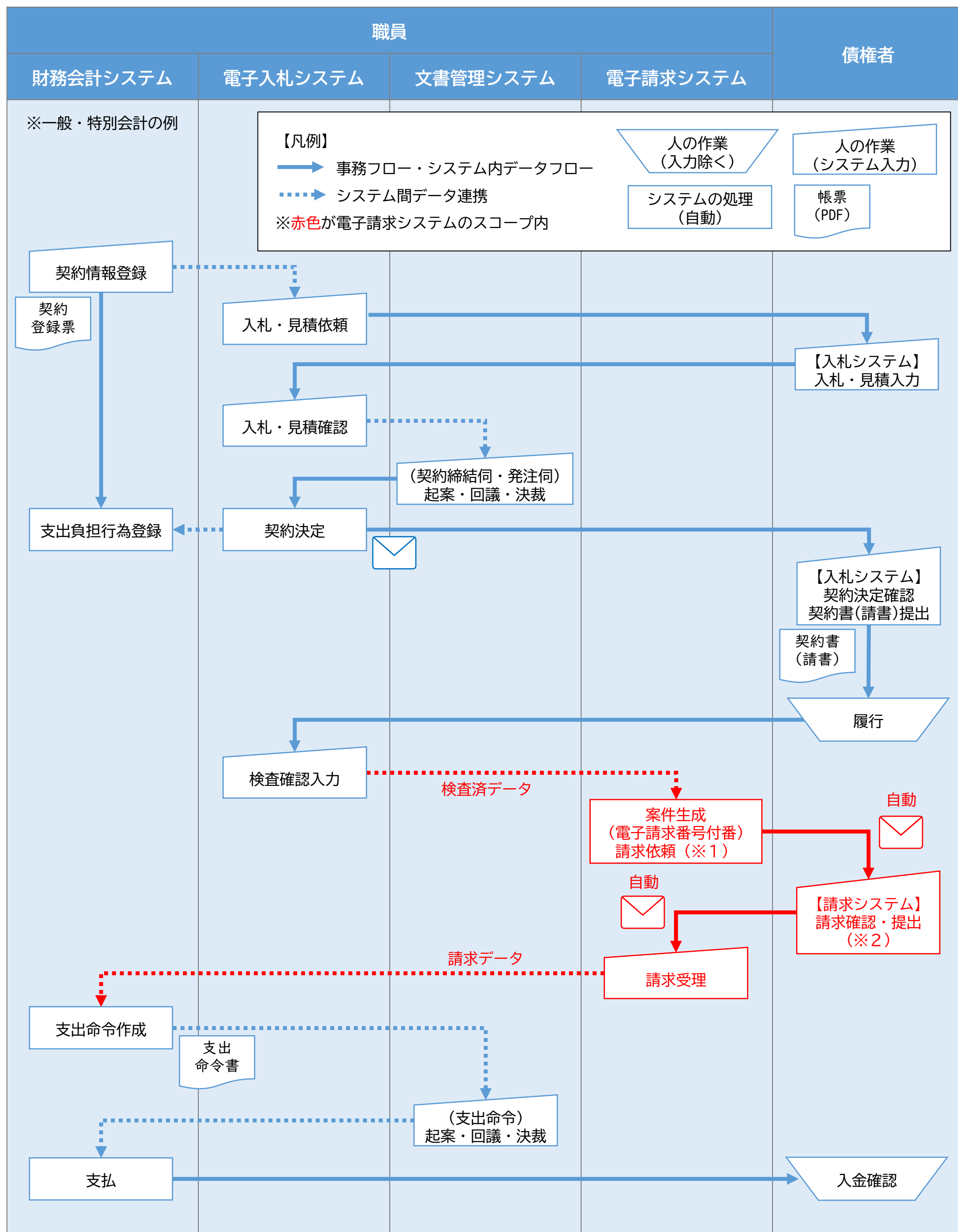


※1 入札システムからの検査済データ連携前に、職員操作による手動依頼（メール）もできることとする。

その場合、ステータスは「請求依頼済」となり、検査済データが来たタイミングで自動メールは送られない。

※2 契約データに基づき表示されている数値を確認、債権者が行うのは支払口座選択（未登録の場合は口座情報を入力）、請求書番号入力を想定。

歳出パターン1-1-2 (電子入札システム使用・請求データ連携あり・契約決定データなし)

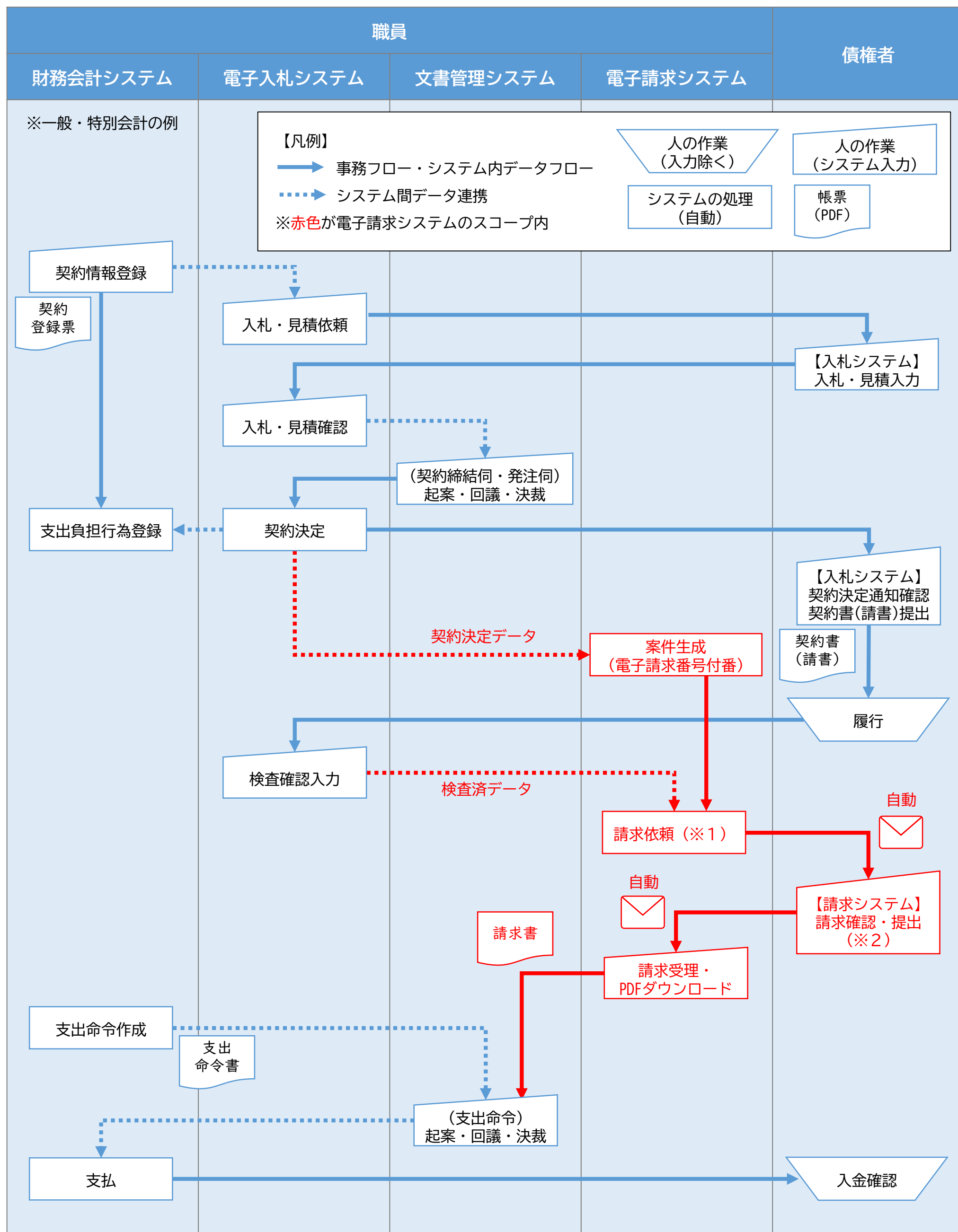


※1 入札システムからの検査済データ連携前に、職員操作による手動依頼（メール）もできることとする。

その場合、ステータスは「請求依頼済」となり、検査済データが来たタイミングで自動メールは送られない。

※2 契約データに基づき表示されている数値を確認、債権者が行うのは支払口座選択（未登録の場合は口座情報を入力）、請求書番号入力を想定。

歳出パターン1-2-1 (電子入札システム使用・請求データ連携なし・契約決定データあり)

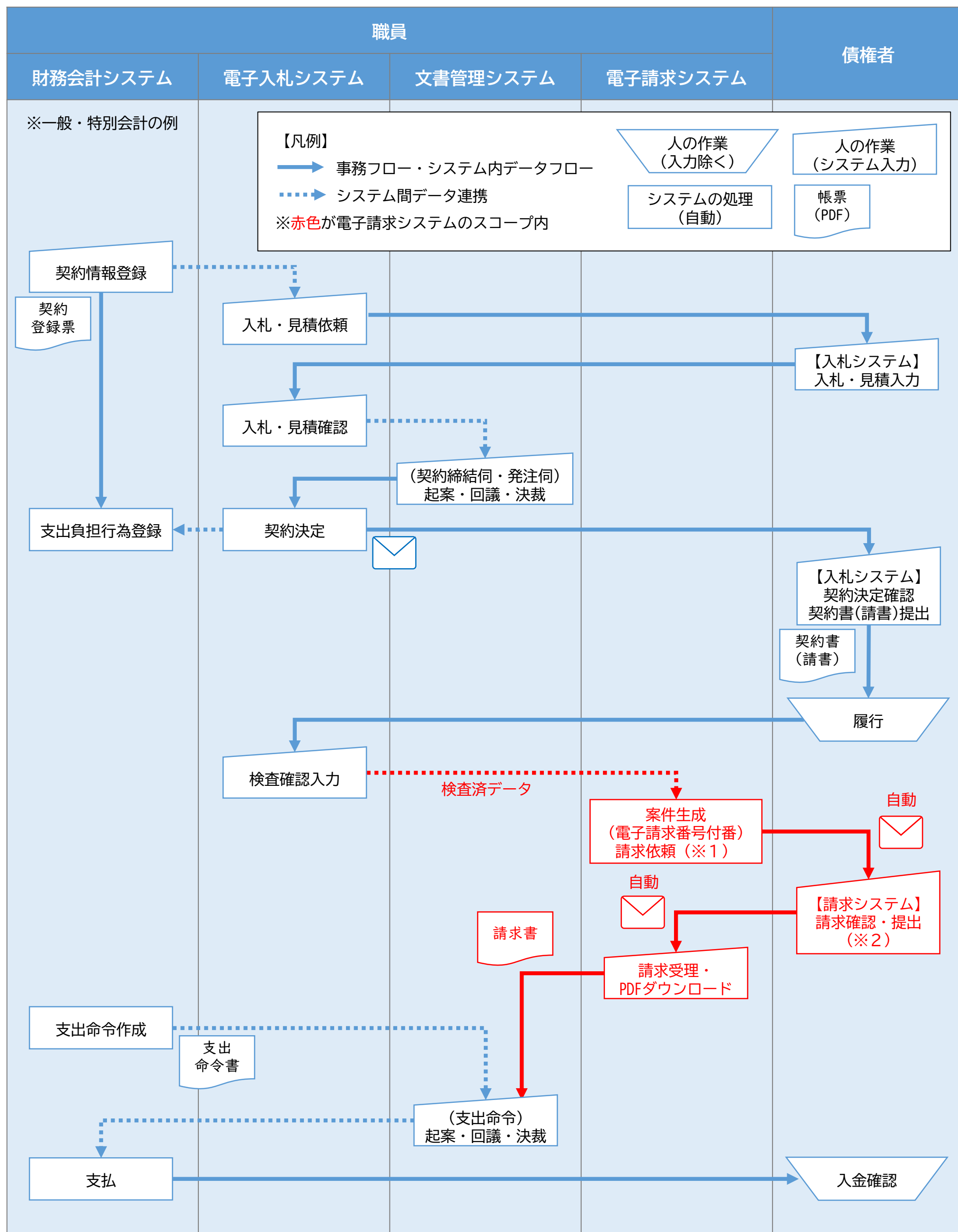


※1 入札システムからの検査済データ連携前に、職員操作による手動依頼（メール）もできることとする。

その場合、ステータスは「請求依頼済」となり、検査済データが来たタイミングで自動メールは送られない。

※2 契約データに基づき表示されている数値を確認、債権者が行うのは支払口座選択（未登録の場合は口座情報を入力）、請求書番号入力を想定。

歳出パターン1-2-2 (電子入札システム使用・請求データ連携なし・契約決定データなし)



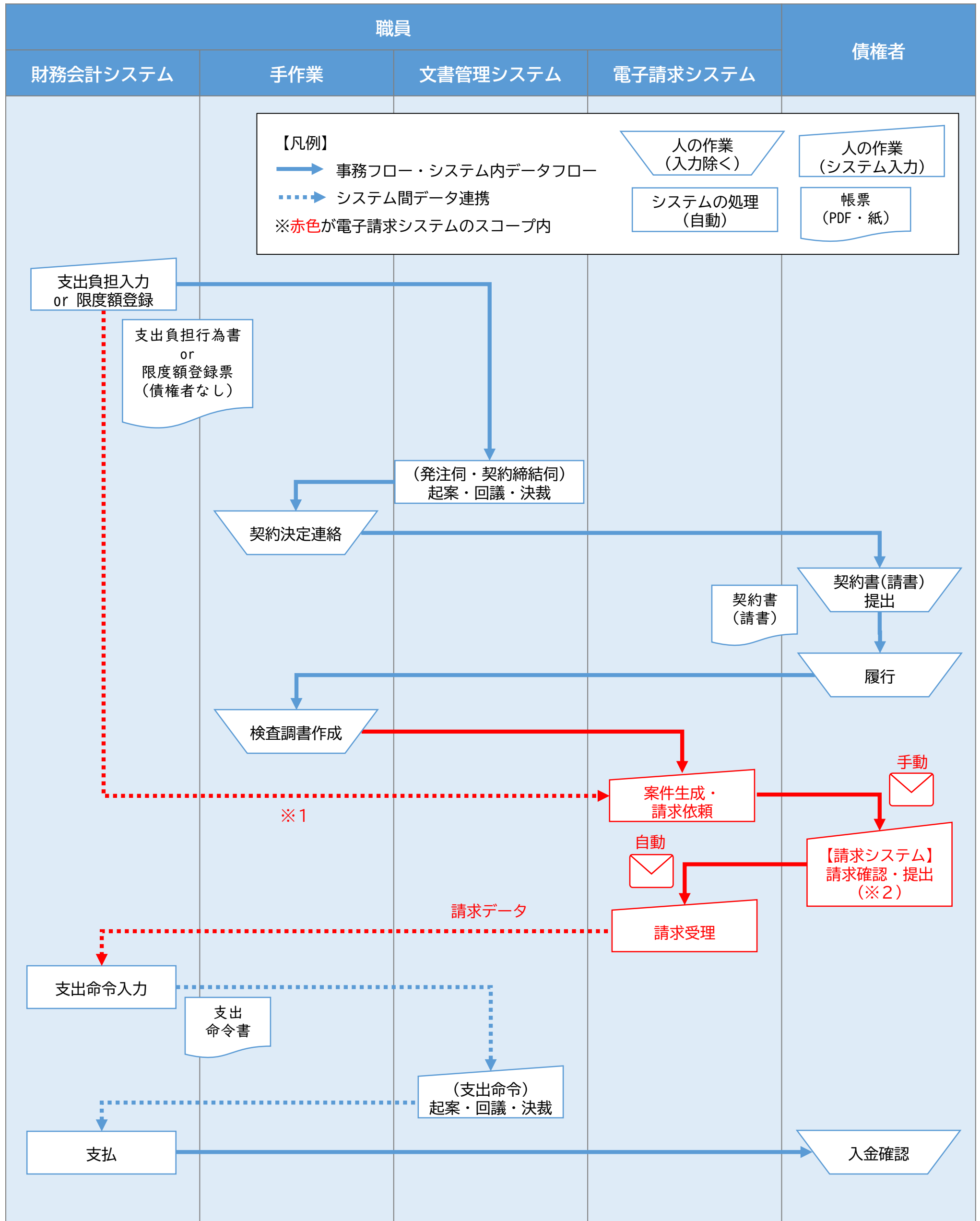
※1 入札システムからの検査済データ連携前に、職員操作による手動依頼（メール）もできることとする。

その場合、ステータスは「請求依頼済」となり、検査済データが来たタイミングで自動メールは送られない。

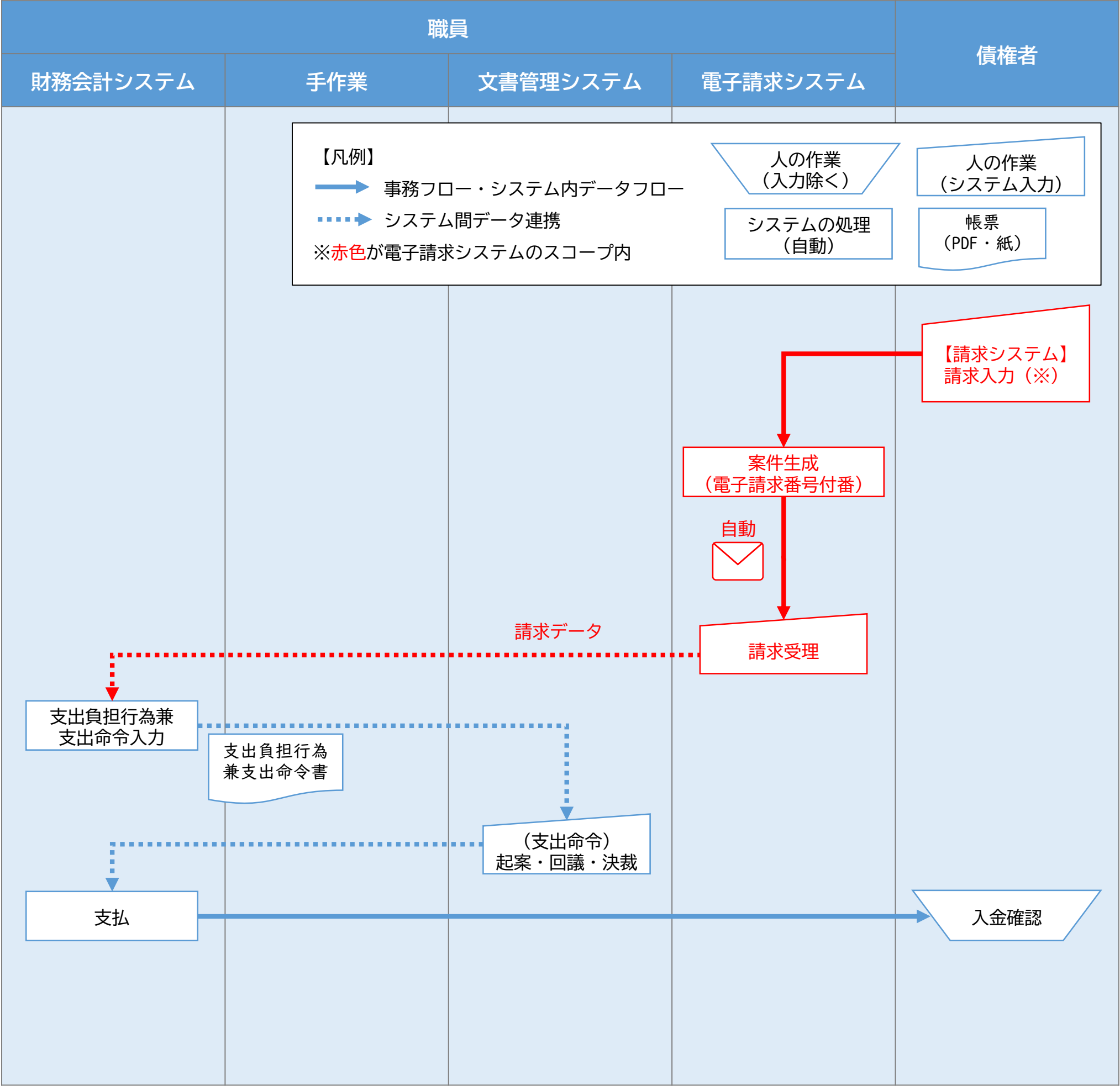
※2 契約データに基づき表示されている数値を確認、債権者が行うのは支払口座選択（未登録の場合は口座情報を入力）、請求書番号入力を想定。

歳出パターン2・3（電子入札システムを用いない支出負担行為）

※令和7年度以降の改修で実装、下図は一般・特別会計の例



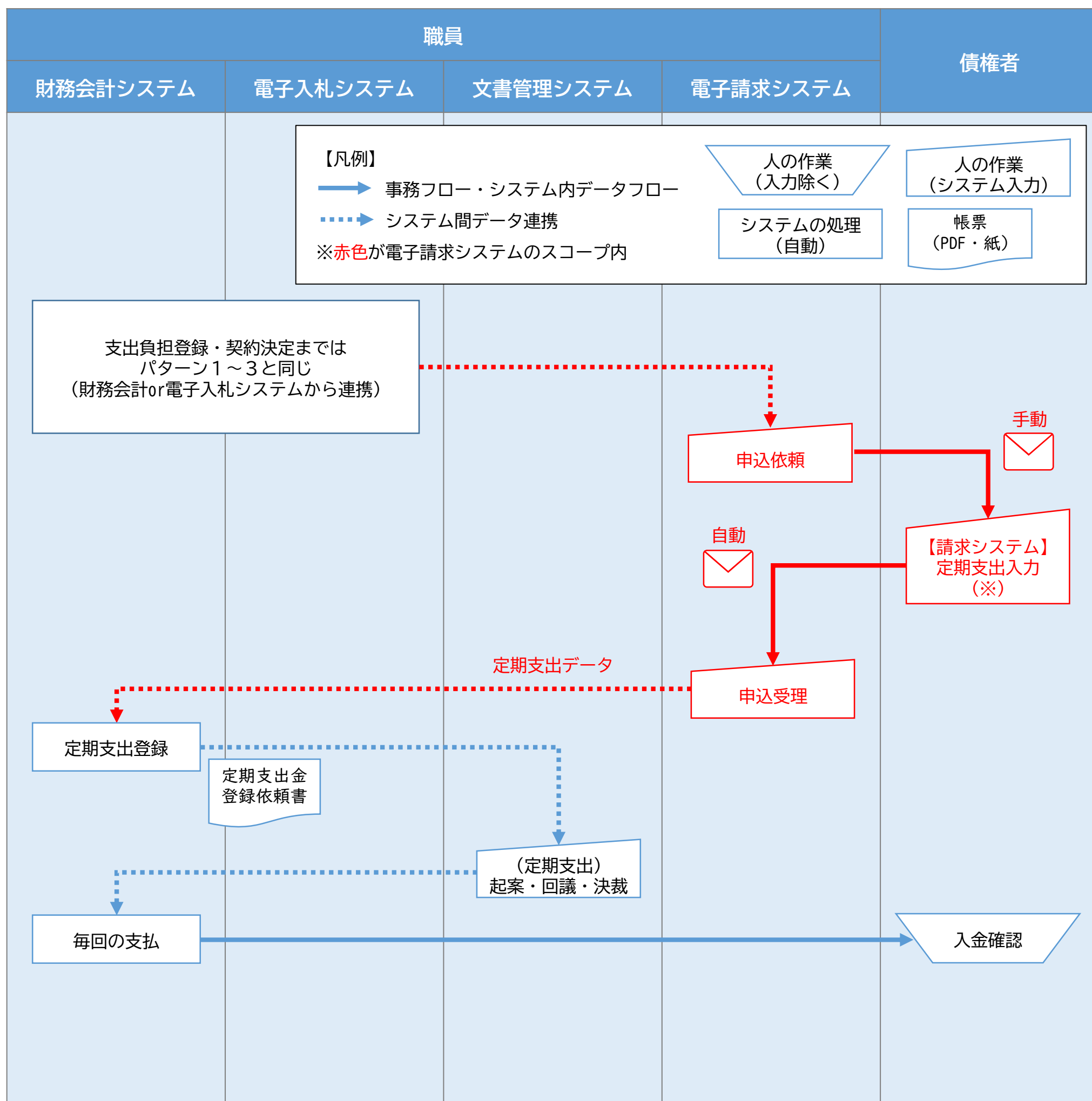
歳出パターン4（新聞、国内旅費など他システムの前段処理がない支出）
※令和7年度以降の改修で実装、下図は一般・特別会計の例



※ このパターンは債権者がすべて入力する必要がある。

定期支出データ連携あり（歳出パターン1～4）

※令和7年度以降の改修で実装、下図は一般・特別会計の例



【定期支出】

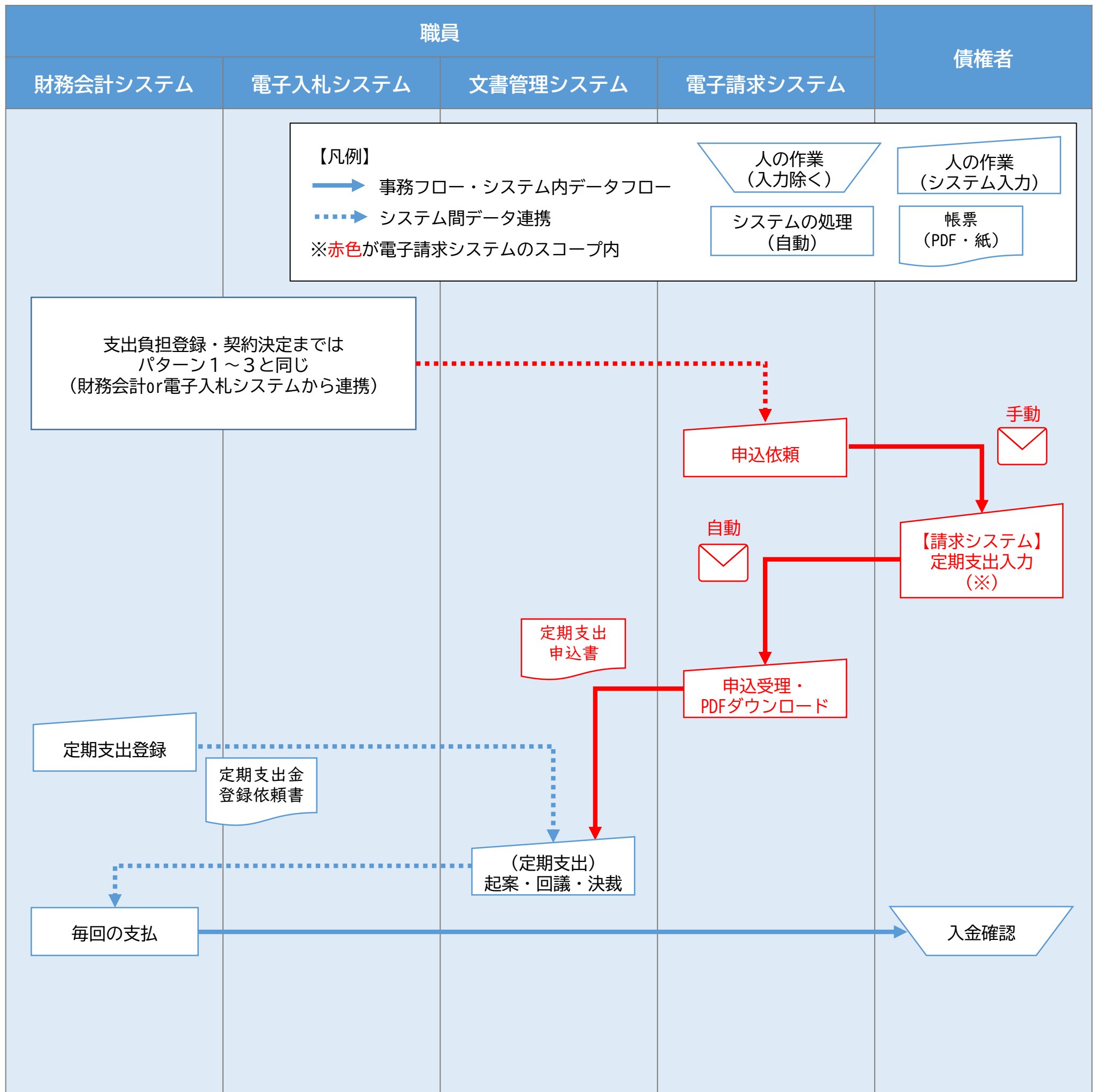
- ・支払時期及び支払金額が、契約書等によりあらかじめ特定されている場合に、「定期支出申込書」を提出することで、その都度請求書の提出が不要になる（毎回の支払金額は均等でなくてもよい）。
 - ・電子入札システムを使用しない場合も定期支出可能
- （参考）「横浜市 定期支出」検索

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/kaikei/shiharai/seikyusiharai.html>

※ パターン2～4は債権者がすべて入力する必要があるが、現状でもエクセルファイルに入力してもらっている。

定期支出データ連携なし(歳出パターン1~4)

※令和7年度以降の改修で実装



【定期支出】

・支払時期及び支払金額が、契約書等によりあらかじめ特定されている場合に、「定期支出申込書」を提出することで、その都度請求書の提出が不要になる（毎回の支払金額は均等でなくてもよい）。

・電子入札システムを使用しない場合も定期支出可能

(参考)「横浜市 定期支出」検索

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/kaikei/shiharai/seikyu-siharai.html>

※ パターン2~4は債権者がすべて入力する必要があるが、現状でもエクセルファイルに入力してもらっている。